

竹川病院

看護部 ケアワーカー 近藤 浩介

功 績	ケアワーカーサブリーダーとして排泄介助について学んだことを速やかに伝達して、おむつ交換回数を減少させ、夜勤職員の負担軽減につなげた功績。
推 薦 者	看護部2階病棟師長 藤岡和子
推 薦 理 由	ケアワーカーリーダーとして、排泄介助のおむつの当て方について業者からの講習を受けてポイントを押さえて教育指導を直接実施し、おむつからの漏れを少なくし、患者さんの着衣の汚染を防止することができるようになった。また、以前は漏れの工夫としておむつの交換の回数や使用するパッドの枚数を増やして対応していたが、おむつの構造を理解し正しい当て方を実践することで、排泄時にパッド1枚交換のみで可能となり、経費節減にもつながった。さらに、おむつ交換方法を職員へ周知するために、夜勤帯で直接指導する方法で実施し、時間を効果的に活用できたことから理事長賞に推薦する。

内 容

1. ユニ・チャームの業者からおむつに関する講習を病棟のケアワーカーリーダーで受講した。
それまで各ワーカーの経験に頼り、特にジャバラ当てという手技は古いのだがこだわりがあり実施していた。おむつに隙間を作り漏れてしまうこと、おむつパッドの吸収ポイントを尿道口部分に当てれば、おむつパッド1枚当てでもおむつの構造上漏れを防ぐことができることを学んだ。
2. 業者からの講習内容を各病棟のケアワーカーリーダーが伝達講習を実施。伝達講習の方法は、夜勤で直接指導を実施。夜勤者へ直接指導することで、自分で当てたおむつパッドが適切に当てられていたかの評価が夜勤中に確認できることで、効果を実感できた。
3. 近藤の伝達方法を他病棟にも教えたところ、他のケアワーカーリーダーも真似して早く教えようという気持ちが生まれた。病棟を代表している3人のリーダーたちが団結し負担軽減と経費削減につながる仕事をしたことは素晴らしいと考える。